

学校概要

創立 90 周年	学校長 寶来 生志子	副校長 山田 良子	学期 3 学期制	児童・生徒数 363 人
学級数 一般級: 13 個別支援級: 3		主な関係校: 菅田中学校		

学校教育目標

自分の思いや願いを実現して ベストスマイル ～だれもが安心して豊かに生活できる学校づくり～

- 基礎基本を身に付けて、主体的に判断し、行動する子を育てます。(知)
- 自分や他の人のよさや違いを認め合い、共に学び合う子を育てます。(徳)
- 生き生きとした活動を支える、心と体を育む子を育てます。(体)
- 地域の人やものを大切にして、共に生きる子を育てます。(公)
- 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)

学校の特色

- 学区に農業専用地域があり、花や野菜の栽培活動が盛んであり、自然環境に恵まれている。
- 地域コーディネーターによる、教育活動と保護者や地域の協力者のコーディネートが積極的に行われている。
- 学校運営協議会をブロックで年間5回実施しており、地域の方の支援のもと、小中一貫教育に取り組んでいる。
- 学習状況調査の結果から、基礎基本の定着に取り組む必要がある。
- 近隣に文化的施設や本と親しむ場所が少ない。
- 学校周辺は人通りが少なく、安全面で心配である。

学校経営中期取組目標

育てる子ども像

- 自分の思いや考えを、自分の言葉で、自信をもって表現する子
- 自分で判断し、行動する子
- ☆ 自分づくり教育の充実(みんなと協力する・自ら考えて行動する・自分を知る)
- ☆ 読書を通し語彙を増やし、言葉の力をつけ、コミュニケーション能力を育成する。
- ☆ 挨拶・返事・立腰の姿勢を柱とし、よい生活習慣を身に付ける。
- ☆ 学級・学年・異学年・中学校・幼稚園・保育園・地域や人や自然とのふれ合いや栽培活動を通した学びの場や交流の場を設定する。

小中一貫教育の取組

菅田中

ブロック: 菅田中学校・菅田小学校・羽沢小学校・池上小学校

9年間で育てる子ども像

豊かなかかわり合いや学びを通して、自他の良さを認め合える子・自分の課題に粘り強く取り組む子

自校の具体的取組

- 「児童・生徒の自己肯定感を高める指導の在り方」というブロックテーマに沿って、児童の実態を把握するとともに、9年間で目指す子ども像を(教育目標)策定を行う。
- 平成25年度より継続して実施してきたブロック9年間を通して行う「いのちの教育」を計画的に実施し、推進する。
- 横浜市キャリア教育実践推進校として作成したベースプランを基に、地域の材や教育力を生かした授業を行う。

重点取組分野

取組目標

具体的取組

確かな学力	主体的に学ぶ児童の姿の実現に向けて、一人ひとりが意欲的に取り組める授業づくりの手立てを探る。	①主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、校内で研修会・講演会を行います。 ②一人1回の校内授業研究を通して、主体的・対話的で深い学びの授業実践を行います。 ③授業実践につながる教材研究や児童への手立ての検討などを、学年ブロックを中心に協同して行い、皆で授業力の向上を目指します。
担当	研究推進委員会	
豊かな心	自分も相手も大切にする気持ちを持ち、助け合って生活する態度を育てる。	①授業の視点を絞って道徳の授業を職員で見合い、気づきを伝え合ったり、子どもの姿を記録して足跡を残したりします。 ②各教科等において、道徳の時間との関連を図った指導を行うため、別業の見直しと改善を図ります。 ③児童の実態をもとに、人権週間の取組を学年・ブロックで計画し、授業実践を行います。
担当	豊かな心部会	
健やかな体	子どもの体育・健康面の姿から課題を明確にし、学校保健委員会の組織を中心に、自分の健康について意識しながら生活できる子どもを育てる。	①体力テストの結果をもとにした、体力向上1校1実践運動の促進を図ります。 ②今年度のテーマを「姿勢の見直し」と設定し、よりよい生活習慣を位置づけ、自分の身体に関心をもてるようにします。 ③体力テストの結果等を保護者と共有し、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図ります。
担当	学校保健委員会	
児童生徒指導	自尊感情を高め、一人一人が安心して豊かに生活できるようにする。そのために、自己肯定感・自己有用感を育むための教育支援に努める。	①あいさつの励行や、小中一貫推進ブロックの生活スタンダードをもとに、基本的な生活習慣の指導を積み重ねていきます。 ②YP-アセスメントを活用し、児童や学級の実態把握を行い、自尊感情を高めていくよう指導の重点化を図ります。
担当	児童生徒・特別支援委員会	
特別支援	特別に教育的配慮の必要な子どもの個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し、個に応じた教育支援に努める。	①子どもの教育的ニーズを的確にとらえ、本人や保護者の願いも聞きながら、個別の支援計画を作成します。 ②学習支援がより効果的にできるように、学習ルームを活用します。 ③外部の専門機関とも連携して、児童理解や指導力の向上を図ります。
担当	児童生徒・特別支援委員会	
地域連携	保護者・地域の力を生かし児童にとって、より質の高い教育活動を実施するとともに、開かれた学校づくりに努める。	①地域の特色を生かした畑での栽培活動を充実させ、児童にとってより意味のある活動にします。 ②見守り隊をはじめ、地域の協力者と児童がより近い関係になれるようにします。 ③ホームページで、学校の様子を毎月更新できるような体制づくりをします。
担当	地域連携委員会	
キャリア教育	菅田中学校ブロックのキャリア教育ベースプランをもとに、地域の材を生かしたキャリア教育(横浜の時間)の単元開発に取り組む。また、児童の主体的な取り組みを大切に、汎用的能力の育成につなげる。	①ベースプランを生かした授業に取り組めます。 ②地域の材を生かしたキャリア教育(横浜の時間)の単元開発に取り組めます。 ③児童の主体的な活動を大切にし、汎用的に考えることができるようにします。
担当	地域連携委員会	
人材育成・組織運営	職員研修により、教職員の専門的な知識や資質・能力を高める。 重点取組分野の運営部会や周年事業の部会を組織し学校運営への参画意識を高める。	①年次研修では授業研究を通して授業力や児童指導力向上のための手立てを学びます。 ②メンターチームの取組ではミドルリーダー・主幹教諭を中心に、経験年数の少ない教職員を全職員で支援します。児童理解・特別支援の研修を全職員で行い、専門性の向上を図ります。 ③学校運営部会や周年事業部会に全教職員が所属し、地域と関連を図りながら、学校教育目標の具現化を目指していきます。
担当	教務部	
いじめへの対応	児童一人ひとりの特性を見出す児童理解に努める。また、道徳教育や人権教育の充実を図る。	①児童の心の動きをとらえるための、カウンセリングスキルを高めるための研修を行います。 ②道徳の時間を中心にして、児童が自分を見つめ、自分を多角的、多面的に捉えることができるような学習を行います。
担当	児童生徒・特別支援委員会	